



とよま囃子保存会会長
福島 二郎さん

わたしたち「とよま囃子保存会」は、1年を通して技術の指導や出演などの活動をしています。今後も、歴史と伝統ある「とよま囃子」の素晴らしさを、多くの子どもたちに伝えていきたいと思ひます。



とよま囃子保存会
(登米)

とよま囃子は登米伊達家5代村直君以来、およそ330年前から続くとよま秋まつりの際に山車屋台で演奏されるおはやしで、城下町らしい優雅な落ち着いた曲が多く、山車の進行中に演じられる4曲と、停止中に演じられる3曲が伝承されています。

保存会は、とよま囃子の伝承保存と育成のため、昭和50年に設立され、小中学生や各町内会のおはやしの指導を行っています。

また、例年9月第3日曜日とその前日に開催される、とよま秋まつりのお囃子審査も保存会員が担当し、技術伝承についても力を入れています。

【問い合わせ】

登米総合支所 地域生活課
☎ 0220 (52) 5051

歴史博物館

広報ミニ展示室 38

＝恩田とき子作品「舞台裏」＝



女性のはかない恋心を人形で表した「舞台裏」

迫出身の恩田とき子さんは人形作家の川崎ブッペさんに師事して人形制作を始め、作品には「ふるさと登米市」での光景のほかに、文学作品のヒロインをモデルとした、女性の悲しみや喜びを表現した作品が多く作られています。着物などは実際に自分の家族が着ていたものなどを使い、装飾品なども手作りで作製しています。この作品は、菊池寛の『藤十郎の恋』に登場するお梶が、恋い焦がれる男性から裏切られ、楽屋裏で涙する姿を美しくもはかなく表現しています。

みなみかた花菖蒲まつり

【期間】 6月17日(水)～7月5日(日)
【時間】 午前9時～午後4時30分
【場所】 南方花菖蒲郷公園

南方花菖蒲郷公園の約5ヘクタールにもおよぶ大庭園に、300種類80万本(最盛期)の花菖蒲が咲く、「みなみかた花菖蒲まつり」が開催されます。期間中はステージイベントや、浴衣美人モデル撮影会(28日)なども開催されます。ぜひ、ご来場ください。

【問い合わせ】 南方総合支所地域生活課
☎ 0220 (58) 2112



東和鱒淵川のゲンジボタル

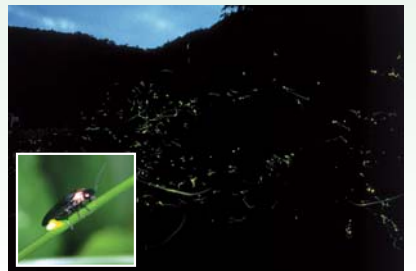
【見ごろ】 6月下旬～7月上旬
【場所】 東和町米川鱒淵地区

初夏の夜空に舞う、ゲンジボタルを見ることができます。

※発生時期は天候や気温によって変わる場合もあります

※国道346号沿いに看板を掲示しています

【問い合わせ】 産業経済部商工観光課
☎ 0220 (34) 2734



モバイルとめ
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス登録
tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)